

議会報告「市民との意見交換会」記録

日時：令和4年11月8日（火）14時00分～15時38分

場所：議員協議会室（議会棟 2F）

担当：B班（建設経済厚生委員会7名）

参加者：加西商工会議所 商工業活性化事業検討委員会（10名）

会議所副会頭：市場博幸氏 委員長：宮本博文氏 副委員長：高瀬由美氏

副委員長：田中俊宏氏、吉田清氏、高見文丈氏、青山真弓氏、柏原修平氏

事務局：森井和喜氏・森脇睦臣氏

1. 開会
2. 議長挨拶
3. 団体代表挨拶
4. 出席者自己紹介
5. 報告及び意見交換

第1部 議会報告

○令和4年度9月議会の主な審議内容について報告

問) 西笠原町の地区計画によるまちづくりの推進について。将来的にスマートシティを目指している計画なのか？加西市モデルとしてやスマートシティ構想として地区整備をするのか？

答) この地域から商業施設が移転した。地元では買い物に困っていることや今後この地域で道路建設が進むことから地域活性化を求める声が地元から上がり、市と町でまちづくりの連携協定を結び、店舗誘致を目標に地元が進めたいまちづくりを可能とするなど、地域主導型の地区計画となっている。店舗誘致と併せて住宅地整備を行うことになっている。

問) 加西病院について。施設が新しくなっても医師確保が出来るのか？

答) 同じ思い。国が地域医療構想を進めており、北播磨地域では統廃合が進んでいる。

加西はいち早く病床数を減らしており、急性期は北播磨病院などの中核病院が、慢性期や回復期は加西など周辺のサテライト病院がやる役割分担化が進んでいる。市民からは産科の希望や総合病院的な役割を果たして欲しいと思いはあるが、中々配置できないのが現状。病院経営の今後の大きな課題でもあると思っている。

第2部 意見交換会

○テーマ「コロナ禍における商工振興施策の現状把握と分析について」

・コロナ対策

商工会) 加西商工会議所の事務局から「新型コロナウイルスの影響に関する緊急実態調査(令和4年7月~9月)」結果の説明あり(別紙資料)。コロナの影響も落ち着いており、改善傾向にあるが業種によっては改善の度合いが異なっている傾向がある。サービス業も継続して厳しいとの声がある。物価高や人手不足も深刻。80%の事業者が光熱費、原油価格、原材料などの高騰の影響を受けている。販売価格への転嫁もまだまだ追いついていない現状があり、収益を圧迫している業種がある。

商工会員) コロナの影響が長引いているが食に関しては回復している。ねっぴー商品券の効果はあった。兵庫県のお買い物シール事業も大きな効果があった。9月からのねっぴーPayも勢いがある。加西市は事業者への支援が大きいことも効果があった。ただ、購買力の高いシニア世代がデジタル化へ追いついていない。各店舗はチャージなどでお客様との会話から接点をもって登録者数を増やす結果になった。大きな支援があることで甘えるのではなく自分たちの力で顧客サービスへ繋げていきたい。

ねっぴーPayについて。これまで獲得した健康ポイントは「たぬきの満点カード」と交換できていたが、ねっぴーPayへと変更されて満点カードの発行がなくなった。まちぐるみ検診や人間ドックなどの検診に今まで通り健康ポイントは狸の満点カードで使えないかとお客さんからの要望がある。ねっぴー商品券で、我々も手間や費用面から実現できていなかったが、高砂市では、大型店で使える商品券、地元商店でしか使えない商品券というすみ分けをしている。ねっぴーPayのデジタルの中で、これまでの健康ポイントのポイントだけは大型店舗以外で使用できるようにして欲しいという要望。地域密着の店が頑張れる。

議会) 仕組みとして紙の商品券からデジタル商品券へととなっている。印刷物は2倍3倍とコストがかかる。すみ分けは出来るので行政へ要望、提言をしていきたい。

商工会員) 私の店舗は、狸の会だけで使える金券は集まる。ねっぴーPayのチャージ要望がメチャクチャ多い。数百万円になる。ねっぴーPayの還元はない。すみ分けはありがたいが、ややこしいのであれば私の店へ来るお客はやらない。お客は紙のねっぴー商品券が使いやすい。店としては、デジタルねっぴーが有難い。

議会) キャッシュレス決済について。数字を見ると、まだ登録されていない店舗がある。企業全体が対応しきれていない現状なのか。

商工会員) 手数料の心配。ねっぴーPayは無料になるかと思っていたが、手数料が発生するので導入しない店舗がある。あえて使わないお店があり登録件数の差がある。

商工会員) アスティアかさいでねっぴーPayのチャージ登録を手伝った。2万円で30%戻ってくるとしても、チャージする手持ちの現金がない若い方々が多くいる。得なのは理解するが参加できない市民が多くいることを知ってもらいたい。

高齢者もお得なのは理解しているが、登録が難しいためにデジタルへ移行できていない。今

後の狸カードはどうなるの？と不安。連携できないのか。

議会) これまで住宅リフォーム制度があったが、令和4年度で事業がなくなった。紙媒体である商品券で支払う補助金メニュー。需要がないとはいえないと思っている。デジタル化でなくすのではなく、紙の商品券も併用して残すことも必要だと思う。

議会) 高齢者の方がどのような部分で難しさを考えているのか。

商工会員) 登録の問題はシステムなので仕方がない。ほとんどが商工会議所へ連絡すれば解決するが、らくらくホンは、セキュリティーがきついので中々登録ができないことがあったり、パスワードを覚えていないという問題。

商工会員) この数年動きが速い。キャッシュレスについては、商工会議所も勉強会を開いて急ぎ対応してきた経緯があるが、速やかに移行できるのには時間がかかると考えている。

議会) 市が民間携帯電話会社・店舗に相談して最初の登録時には特定アプリをいれてもらうようお願いすることは考えられるか。

商工会員) 代理店への問題。質問が有料になってきている。事前予約制にもなっている。気軽に相談できないようになってきている。高齢者へは親切に説明して欲しいという形をとっていかないといけない。そもそもデジタルが苦手なのに予約はスマホとなっている。

個人的な意見。大変革期となっている。地域通貨ねっぴーPayをどの様に浸透させ育てていくのか。辛抱した使い便利になればその先に何があるのか。夢・未来構想を示す必要があるのではないか。

議会) ITやDXは本当に夢のある社会になるのかと考えている。任意だと思っていたマイナンバーカードについても強制になっている。便利になった社会について安全面など不安がある。

議会) 市の答弁としては、ねっぴーPayを活かして事業者がだんだん独立してもらおうとしている。市からはまだ具体的な効果や例が説明されていない。商工業者として地域通貨の研究はされているのか。

商工会員) 担当課と共に今後どのようにねっぴーPayを育てていくのか協議しているが、具体的に自走できるような協議は出来ていない。スマートシティ構想があるのならば、今後、どのように利便性を高めねっぴーPayをのせていくのか課題である。もらったアドバイスを継続協議する。

議会) 高齢者と若者の移行期間になるので、デジタル通貨と紙の商品券との併用となっているが、これからも商品券を残して欲しいという意見がありました。

議会) ねっぴーPayのポイント還元やキャンペーンなどについて今後はどのように進めていけばよいのか意見を求めたい。

商工会員) チャージポイントについては、中々3万円をチャージすることができない家庭や若い世代があるので、チャージを何回か分けて継続的にしてもらえるように。また、一気に30%還元ではなく、還元率を低くし10%を継続的にするとかの工夫が欲しい。

商工会員) 私の店舗もチャージの店になっている。前は圧倒的に3万円のチャージが多か

ったが、今回は 3 千円とか 1 万円とか手持ちのお金を入れる方が多いので、今やポイント還元 20%30%が当たり前になっているが、継続して長く引っ張れるような低い割引率で良いのではないか。

議会) 商工会議所アンケート調査をみると約 1100 社ある中の約 390 社しか対象になっていないのはなぜか。

事務局) アンケートは、役員理事さんと法人会員で絞らせてもらっている。

議会) 会議所として零細企業者へアンケート調査することは考えているか。

事務局) 1000 を超える会員の中でほとんどが零細企業であるが、全てのアンケート調査や結果をまとめるとなると大変な作業になるためにやっていない。

議会) 製造業や販売、建設関係ではどういう問題があるのか。

商工会員) 私どもはネット販売と卸販売をしている。卸は急ブレーキがかかっている状態。

2割3割減。世界情勢の関係で先行きが見えない。財布のヒモが締まっているのではないか。

こんな時はいかに市外のお金を持ってくる、外貨を稼ぐのかということ考えないといけない。市長が観光を中心に元気にしていかないといけないというが、鶴野には修学旅行生だけで一般客のお金が落ちていない問題がある。横串を指せるように加西市の色々な商店などでお買いものをしてお金を使ってもらえる仕組みをつくれば外貨が稼げると思う。

ねっぴー P a y も市内の方だけでなく、市外の方にも継続的に 10%安くなると分かってもらえれば市内にお金が落ちるのではないかと思う。

商工会員) 建設関係では、原油価格の高騰や資材の高騰などがコロナの影響と重なり大きく押し掛かってきている。いまのところ企業努力で何とかしている。今後、価格への転嫁もある。令和 2 年あたりから厳しい状況が続いている。

商工会員) これだけはお願ひしたい。地域でお金を回さないといけない。少々安いからといって地元をないがしろにして東京や大阪の会社から物を買ったりサービスを受けているようではダメ。技術的に出来ないといのは仕方がないが、地元で出来るのなら地元で。地元の会社を使い育成していくことが必要である。煙草を買うなら地元でという言葉があったが、消費をするなら地元でという市民の空気感も必要。市内業者を守る。見栄えが明るく素敵であれば、加西の魅力があれば多くの購買や移住にもつながる。地元で物を買いましょう、地元でサービスを受けましょうという空気感が必要。市議会議員のちょっとした声掛けや購買も元気なる。積み重ねと空気感をつくって下さい。地元企業の育成を要望する。

議会) ソフトに対するどういう仕組みをどう作るのか教えて欲しい。商工会議所か市が作るのか。ソフトの開発は誰がするのか。

商工会員) システムは加西市がつくる。加西市主導のねっぴー P a y の場合は、PayPay と違いデータベースの情報が貰え顧客管理ができる。各店舗が工夫してクーポン発行も出来る。

議会) 高齢者を取り残さないということが一番の重要な課題。PayPay が各地域で期間限定キャンペーンをしたりするなど民間アプリがたくさんある中で、地域から呼び込むという

ことはどのようにされていくのか。

商工会員) 電子マネー使う人達はよく研究している。今は何が得なのかを考え使い分けしている。ただ PayPay 払いが圧倒的に多い。電子決済について若者が多い。PayPay のガラガラ抽選のように、ねっぴーPay もちよつとした遊び感覚も必要。4 割がクレジット電子決済。手数料というおいしい部分は全部持って行かれると問題もある。

議会) 30%よりも 5%から 10%の低い継続した還元率で商店を活性化していくというのが非常に良い意見だと、高齢者へも還元していくということで紙媒体も必要と思う。貴重な意見ありがとうございました。

商工会員) これまで購買流出人口の流出が多かったが、PayPay やねっぴーPay もで購買流出人口が流入している効果があった。市外からの外貨獲得につながっている。

議会) 先日じば産物産展があったが、PayPay が利用できる店舗があった。ねっぴーPay の登録やチャージ、会場で使用ができると良かったのではないか。

議会) コロナ対策、原油価格の高騰など対策を加西市として取組んできたが、商工としてどのような事業支援があればよいと考えるか。

商工会員) ポイントカードを 40 店舗で展開しているが、ポイントカードを印字する機械が導入して 23 年も経っているために古い。いまは地域防犯も含めた会員カードが発行できるような新しいシステムがあるので、補助や助成金などがあれば取り組みやすく検討したい。

商工会員) お買い物難民対策。我々も商売人も真剣に受け止め何かしなければならぬ。その時には市から出来れば助成をしてほしい。先進地ではライドシェアや IT を利用したりなどある。公共交通の規制緩和をしてお買い物難民の解決をして欲しい。我々も努力する。

議会) 公共交通については地区ごとに色々と実施したり検討してもらっている。公共交通活性化協議会で審議されていくと思うが、今後はどうなるか分かりませんが地区で努力しているところだ。

商工会員) 電子マネーの使用については、2020 年度の家庭消費状況調査では、20 代が 78%、30、40、50 代は 65%、60 代になると 46%となるが消費金額は 60 代が多い。一番お金を使う 60 代に紙媒体を含めた手厚い支援をお願いします。

議会) 閉会の挨拶。